

800年続く小浜町勸請吊 かんじょうつり



行程を縮小しても伝統は守り続ける 大しめ縄2本を2神社に奉納

小浜町で800年以上続けるとされる伝統行事「勸請吊」が行われました。コロナ禍で当日行事の行程を縮小しながらも伝統を守ろうと、50歳以上の男性氏子が早朝から大日堂に集結。2本の大しめ縄を結び、瓊瑤や八咫鏡などの飾りの仕上げを行って、町内の天満宮と八幡宮の2神社まで練り歩いて大しめ縄を鳥居に飾り奉納しました。

1月8日 | 小浜町

新庄町八幡神社に伝わる「粥祝」 かいわい



住民の幸せを願い「小豆粥」振る舞い 竹に入った粥で一年の豊作を占う

八幡神社に伝わる「粥祝」の行事が営まれました。氏子の代表者が夕方から米5升・小豆約1.5kgで1~3番釜の小豆粥を炊き、中に入れた「しのべ竹」の粥の状態で一年の豊作を占います。地域の子どもたちが「かいわいにござれ」と触れ回るのを合図に、住民が次々と鍋やタッパーを手に小豆粥をもらいに来ていました。

1月7日 | 八幡神社(新庄町)

たこ 凧作りと凧あげ大会



自分だけの凧を作ったよ 野洲川で凧あげ楽しむ

真剣な面持ちで凧に絵を描き組み立てた子どもたちは、出来上がった凧を持って公園で凧あげを楽しみました。全速力で公園内を走り回ったり、転んだりしながらも、風を受けた凧があがると子どもたちは大喜び。参加者は「地域の人に教えてもらい、元気に外で遊ぶことができうれしい」と話していました。

1月15日 | 中洲会館、野洲川中洲親水公園あめんぼう

新春年賀状展



守山学区の幼児・小中学生から大人まで 1年の始まりを祝う力作ずらり

守山学区まちづくり推進協議会の主催で行われ、工夫を凝らした年賀状1,667通がエルセンターのロビーなどにずらりと展示されました。訪れた市民たちは、1年の始まりにふさわしい千支のウサギにちなんだ作品や、人気キャラクターをモチーフにした作品、絵画風作品などをじっくりと笑顔で観賞していました。

1月14日~27日 | エルセンター



守山市の人口

令和4年12月31日現在
(前月比)

人口	85,619 (+ 21)
男	42,095 (+ 18)
女	43,524 (+ 3)
世帯数	34,469 (- 1)

開かれていた。新鮮な野菜・果物、手作りの漬物やお弁当、湖魚の佃煮、パンなどが並び、多くの人でにぎわっている。最初の頃は、朝から荷物を持ち歩くのが煩わしく眺めるだけで我慢していた▼ある日、どうしても欲しいものがあり、それだけを持ってレジに並び、一他にも欲しいものがあるけど、これから仕事だからと、「ほすと」荷物台に置いてもらったら、夜7時までお預かりしますよ」と、思いがけない温かいお返事が返ってきた▼出かける人や職場に向かう人にとって、思いやりのある便利なサービスに感謝しながら、それ以来、出勤前の買い物を楽しんでいる。でも1度だけ、預けた荷物のことをすっかり忘れて帰りの電車に乗りかけ、慌てて取りに戻ったことも。危ない、危ない。(ひろ)



守山市駅前総合案内所で毎週水・土曜日、朝市が